

地方公営企業法第 40 条の 2 第 1 項の規定に基づき、業務の状況について公表します。

令和 2 年 6 月

白河地方広域市町村圏整備組合
管理者 鈴木 和 夫

白河地方広域市町村圏整備組合水道用水供給事業の 業務の状況について

1 令和 2 年度事業の概要

令和 2 年度水道用水供給事業会計予算が、去る 2 月 21 日開催の当組合議会 2 月定例会において可決されましたのでお知らせします。

(1) 総括事項

本年度の業務としましては、供給 6 市町村（白河市、矢吹町、西郷村、泉崎村、中島村及び棚倉町）を対象とし、年間総給水量 7,778,150 m³、一日最大給水量 21,310 m³を供給する予定です。前年度に引き続き、計画的な設備機器類の機能維持を図りながら、合理的な運転管理と健全な経営に努めるとともに、清浄でおいしい水の安定供給を図ってまいります。

本年度の予算につきましては、収益的収入は供給 6 市町村からの用水料金及び長期前受金戻入などを計上しています。収益的支出は当組合の芝原浄水場維持管理や保守点検、浄水に必要な動力費や薬品費、水質検査に要する経費、減価償却費、企業債利息、職員給与費などを計上しています。これら支出項目毎に適正かつ効率的に執行することを踏まえ、収益的収入は 1,158,333 千円、収益的支出は 944,466 千円を計上しました。資本的収支につきましては、資本的収入 107,100 千円（企業債）、資本的支出 479,499 千円（建設改良費、企業債償還金）を計上しました。資本的収入額が支出額に対し不足する額 372,399 千円は、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金などで補てんします。

本年度の主な事業としましては、日常的な浄水場運転維持管理のほか、年次計画に基づいた施設の保守点検や修繕、そして、原水や浄水の水質検査などを行います。修繕工事として、浄水処理設備修繕、急速ろ過池設備修繕、各流量計室電磁式水道メーター修繕（5 年計画の 2 年目）、脱水機設備等における劣化・消耗部品の交換整備など年次計画に基づき実施します。また、建設改良費としましては、浄水場及び場外施設電気計装設備更新に伴う実施設計業務委託料と、福島県管理の堀川ダムについて、県の長寿命化計画に基づく堰堤改良事業（5 年目）実施に伴い、利水者側である当組合の負担割合 29.6%分を負担します。

(2) 収支の状況

イ 収益的収支

(単位：千円)

区 分		令和2年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	比 較 増 (△) 減	備考
収益的 収支	収益	営業収益	726,054	719,454	6,600
		営業外収益	384,014	384,455	△ 441
		特別利益	48,265	48,265	0
		計	1,158,333	1,152,174	6,159
	費用	営業費用	844,435	857,123	△ 12,688
		営業外費用	95,030	101,701	△ 6,671
		特別損失	1	1	0
予備費		5,000	5,000	0	
計	944,466	963,825	△ 19,359		

ロ 資本的収支

(単位：千円)

区 分		令和2年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	比 較 増 (△) 減	備考
資本的 収支	収入	企業債	107,100	51,000	56,100
		出資金	0	5,232	△ 5,232
		計	107,100	56,232	50,868
	支出	建設改良費	107,235	51,092	56,143
		企業債償還金	372,264	374,737	△ 2,473
		計	479,499	425,829	53,670

※資本的収入額が支出額に対し不足する額372,399千円は、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金など372,399千円で補てんする。

(3) 予定貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
1. 固定資産	13,302,015	3. 固定負債	2,068,323
(1) 有形固定資産	7,603,780	(1) 企業債	2,018,323
(2) 無形固定資産	5,698,235	(2) 引当金	50,000
2. 流動資産	507,317	4. 流動負債	389,015
(1) 現金預金	486,245	(1) 企業債	366,740
(2) 未収金	0	(2) 未払金	17,736
(3) 貯蔵品	21,072	(3) 引当金	4,539
		5. 繰延収益	9,467,197
		(1) 長期前受金	18,276,745
		(2) 収益化累計額	8,809,548
		6. 資本金	1,198,906
		7. 剰余金	685,891
		(1) 資本剰余金	55,653
		(2) 利益剰余金	630,238
資産合計	13,809,332	負債資本合計	13,809,332

2 令和元年度事業の状況（令和2年3月31日現在）

(1) 事業の概要

令和2年3月31日現在の予算執行状況としましては、収益的収入の予算額1,152,174千円に対し、用水料金及び長期前受金戻入等による1,155,286千円（100.27%）の執行済額となり、収益的支出の予算額965,397千円に対しては、経営に伴う施設維持管理費・減価償却費等による928,126千円（96.14%）の執行済額となりました。また、資本的収支につきましては、資本的収入の予算額38,932千円に対し、企業債及び出資金による38,932千円（100.00%）の執行済額となり、資本的支出の予算額408,531千円に対しては、建設改良費及び企業債償還金による408,530千円（100.00%）の執行済額となりました。

水道水の供給状況としましては、供給市町村への総送水量が7,430,366 m³となり、有収水量は7,371,411 m³、有収率は99.2%となりました。引き続き、安全な水の安定供給に努めてまいります。

令和元年度の主な事業としましては、水道水供給のための日常的な運転・維持管理、芝原浄水場・堀川ダムにおける原水や浄水の水質検査・放射性物質モニタリング検査を実施したほか、当組合施設における修繕工事として、芝原浄水場の受変電設備修繕、急速ろ過池設備修繕のほか設備の劣化による消耗部品の交換整備、各流量計室の電磁式水道メーター修繕（5か年計画の1年目）などを年次計画に基づき実施しました。また、建設改良費としましては、浄水場中央監視制御設備更新に伴う実施設計業務委託料と、福島県管理の堀川ダムについて、県の長寿命化計画に基づく堰堤改良事業（4年目）実施に伴い、利水者側である当組合の負担割合29.6%分を負担しました。

当組合では、水道水の放射性物質モニタリング検査を週1回行っていますが、現在の状況は水道水中の放射性物質に係る管理目標値を下回っています。そのほか、原水（浄水場入口水）のモニタリング検査を週1回、堀川ダム流入水（堀川・横川）のモニタリング検査を月1回の検査頻度で行っていますが、いずれも管理目標値を下回っています。

(2) 経理の状況

令和元年度予算執行状況 (R2. 3. 31現在)

イ 収益的収支

(単位：千円)

区 分		令和元年度 当初予算額	補正予算額	予備費支出額 流用増減額	現計予算額 (A)	上期執行済額	下期執行済額	執行累計額 (B)	予算残額 (A)-(B)	執行率(%) (B)/(A)	
収益的 収支	収益	営業収益	719,454	0	0	719,454	356,428	363,026	719,454	0	100.00
		営業外収益	384,455	0	0	384,455	27	385,503	385,530	△ 1,075	100.28
		特別利益	48,265	0	0	48,265	48,263	2,039	50,302	△ 2,037	104.22
		計	1,152,174	0	0	1,152,174	404,718	750,568	1,155,286	△ 3,112	100.27
	費用	営業費用	857,123	0	0	857,123	81,883	740,460	822,343	34,780	95.94
		営業外費用	101,701	1,572	2,512	105,785	34,327	71,456	105,783	2	100.00
		特別損失	1	0	0	1	0	0	0	1	0.00
		予備費	5,000	0	△ 2,512	2,488	0	0	0	2,488	0.00
		計	963,825	1,572	0	965,397	116,210	811,916	928,126	37,271	96.14

ロ 資本的収支

(単位：千円)

区 分		令和元年度 当初予算額	補正予算額	現計予算額 (A)	上期執行済額	下期執行済額	執行累計額 (B)	予算残額 (A)-(B)	執行率(%) (B)/(A)	
資本的 収支	収入	企業債	51,000	△ 17,300	33,700	0	33,700	33,700	0	100.00
		出資金	5,232	0	5,232	5,232	0	5,232	0	100.00
		計	56,232	△ 17,300	38,932	5,232	33,700	38,932	0	100.00
	支出	建設改良費	51,092	△ 17,298	33,794	0	33,794	33,794	0	100.00
		企業債償還金	374,737	0	374,737	0	374,736	374,736	1	100.00
		計	425,829	△ 17,298	408,531	0	408,530	408,530	1	100.00

※資本的収入額が支出額に対し不足する額369,598千円は、過年度分損益勘定留保資金159,426千円、減債積立金207,006千円、建設改良積立金94千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3,072千円で補てんした。

(3) 損益計算書

(単位：千円)

区 分	上期分	下期分	累計額
営業収益	330,025	330,025	660,050
営業費用	349,608	456,425	806,033
営業利益	△ 19,583	△ 126,400	△ 145,983
営業外収益	191,924	193,606	385,530
営業外費用	34,326	32,202	66,528
経常利益	138,015	35,004	173,019
特別利益	48,263	2,039	50,302
特別損失	0	0	0
当年度純利益	186,278	37,043	223,321
前年度繰越利益剰余金	0	0	0
その他未処分利益剰余金変動額	0	207,100	207,100
当年度未処分利益剰余金	186,278	244,143	430,421

※年度末において一括予算執行を行う長期前受金戻入及び減価償却費については、上期分・下期分としてそれぞれ推定される額を計上。

(4) 予定貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
1. 固定資産	13,747,569	3. 固定負債	2,327,966
(1)有形固定資産	7,978,473	(1)企業債	2,277,966
(2)無形固定資産	5,769,096	(2)引当金	50,000
2. 流動資産	550,679	4. 流動負債	397,254
(1)現金預金	529,583	(1)企業債	372,262
(2)未収金	0	(2)未払金	20,276
(3)貯蔵品	21,096	(3)引当金	4,497
		(4)その他流動負債	219
		5. 繰延収益	9,850,988
		(1)長期前受金	18,276,745
		(2)収益化累計額	8,425,757
		6. 資本金	1,198,906
		7. 剰余金	523,134
		(1)資本剰余金	55,653
		(2)利益剰余金	467,481
資産合計	14,298,248	負債資本合計	14,298,248

(5) 企業債の状況

(単位：千円)

区分	前年度末残高	令和元年度		3月末現在残高
		3月末現在借入高	3月末現在償還高	
企業債	2,991,264	33,700	374,736	2,650,228